

新・銀座駅 - 対比と重層 -

「駅」の機能を持ちつつ、人の集まる場所に。
「銀座線」や「銀座」という街の個性を活かしながら、日本の「歴史」と日本の「最先端」を感じることのできる空間にしようと考えた。

望ましい経験

- ・ユーザー像 30歳女性。会社員。海外留学経験有り。

東京駅から丸ノ内線に乗って銀座にやって来たメアリーと、西銀座口の改札口で落ち合う。メアリーは、3日前アメリカから日本に旅行にやって来た同世代の友人である。
今日は銀座を案内する。
地上に続く明るいレモンイエローの空間を横目にコンコースを通り銀座口に向かう。そこで目に入ってくるのは壁一面のショーケースだ。創業何百年と続く銀座老舗店の商品が並んでいる。「Wow!!」メアリーは物珍しそうにショーケースに覗き込んだ。メアリーが見ていたのは、老舗店の着物の文様の展示だった。展示の他にもその商品に関する書籍やパンフレットも置いてあり、メアリーは「ここに行きたい!」と言ってはいしゃいでいる。また、「商品もとても興味があるけど、誰でも読めるように本が置いてあって、それがちゃんとした状態で保たれているなんて!さすが日本人!」私は日本を褒められてとてもうれしい気持ちになった。一方で振り向くと大きなデジタルサイネージで最新の様々な情報を見ることができ、ランチの場所を決めた。少し進むとミニギャラリーのようなスペースがあり、アート展示を楽しむ。まるで地上で“銀ブラ”したかのような気持ちになった。地上で銀座を楽しんだあと、銀座線で浅草に向かうため銀座口改札に向かう。門形が大きく構え、私たちを迎えてくれた。ゲートをくぐり、地下に降りるとまたもやレモンイエローの空間に導かれると壁一面の銀座のモノクロ写真。「最高に楽しい駅ね!ありがとう!」私はまたうれしくなった。

対比と重層

■「伝統」、「先端」、「銀座」のそれぞれの要素を抽出し、「対比」、または「重層」することにより空間を構成する

□伝統

日本の伝統建築の要素を抽出

門形

格子

文様

木目

和紙

□先端

最先端のツールで情報を整理

デジタルサイネージ

ガラス/アクリル

□銀座

銀座の特徴を抽出

銀座の街並み

銀座線車両のレモンイエロー

柳の木

□銀座線カラー

ラインデザイン(共通)

■ 上屋 「門形」で迎え入れ、レモンイエローで導く

銀座線車両の表出。半透明のカラーガラスは銀座線の車両の色を現すレモンイエロー。銀座の街や行きかう人々をゆらゆらと映し出し街に溶け込む。多数の入口をフレームの素材によってそれぞれの出入口を個性づけ、人々を迎える。

門形

+

レモンイエロー

+

ガラス

■ コンコース【待ち合わせ】 新旧を対比させることにより、互いを引き立たせる

創業100年以上という老舗と、最先端の商品を扱う百貨店や海外の高級ブランド店、歴史と最先端が混在する銀座。これを銀座の街の特徴と捉え、歴史と最先端を対比させることによって、空間を構成。地下に銀座の街を新たな形で再現する。

歴史

←

最先端

格子

+

和紙

+

木目

→

サイネージ

+

ガラス

■ 駅機能アイデア 銀座ショールームー銀座の店舗との連帯ー

銀座は創業数百年の店がたくさんある。時代や流行に流されない日本の本当に良いものを知るきっかけになるように、銀座の商店に協力してもらい、格子型のショーケースに一挙に並べ、情報を発信し、また商品に関する書籍(古本やパンフレット etc)なども自由に見れるようにする。一方でサイネージには最先端の情報を表示し、めまぐるしく移り変わる時代に対応する。

銀座の街並み

+

ガラス

+

レモンイエロー

+

ガラス

+

柳の木

+

文様

■ 西銀座改札【自然(光・緑)】 地上からの光とイエローの光による明るい空間

■ プラットフォーム 歴史をショウケースに閉じ込め、明るくやわらかなイエローの光につつまれる

壁面一体を覆った、モノクロ写真は銀座線・銀座の歴史を映し出し、まるで銀座の画廊にいるかのように感じさせる。柱には柳の文様を施し、銀座の柳を表現する。車両のレモンイエロー色を表現したカラーガラスは地下を明るくさせ、電車を待つ人々を照らし出す。

■ 銀座口改札【品格・おもてなし】 「格子」で構成された、門形フレームで迎える

「門形」で迎え、「くぐる」という行為によって、次なる空間への始まりを予感させる。

MTR-1170